

## 第5回

# 長野県移動性・安全性向上検討委員会

日時 平成20年3月17日(月)  
14:00~16:00

場所 メルパルク NAGANO  
3階「瑞鳳の間」

## 議 事 次 第

### ◇ 開 会

#### 1 開催あいさつ

#### 2 議 事

- (1) 前回の委員会について . . . 資料-1
- (2) パブリックコメントの結果報告 . . . 資料-2
- (3) 対策箇所の効果評価内容について . . . 資料-2
- (4) 今後の方針について . . . 資料-2
- (5) 質疑応答

### ◇ 閉 会

# 長野県移動性・安全性向上検討委員会

## 第5回 委員会資料

平成20年3月17日

# 1. 概要

## 1 - 1 . 前回(第4回委員会)の内容

1. 概要

第4回の内容

第5回の位置付け

2. パブコメ

3. 評価方法

4. 今後の方針

- ▶第4回委員会(H20.1.31開催)では、「イライラ・ハラハラ箇所への対策内容」、「対策の実施状況と事例紹介」、「今後の方針(パブリックコメントの実施/今後のPDCA)」に関して報告や検討を行った。
- ▶第4回委員会後、「取り組みに対するCheck(評価)」に関するパブリックコメントを実施した。

### 委員会フロー

<b>第1回移動性向上検討委員会</b> 平成17年12月27日 設立趣旨の確認 検討の流れ・スケジュール 移動性障害箇所選定の考え方 暫定移動性障害箇所(案)	<b>第1回安全性向上検討委員会</b> 平成17年12月27日 設立趣旨の確認 検討の流れ・スケジュール 安全性要対策箇所選定の考え方 暫定安全性要対策箇所(案)
<b>第2回移動性・安全性向上検討委員会</b> 平成18年9月22日 移動性障害箇所・安全性要対策箇所選定の考え方 移動性障害(候補)箇所・安全性要対策(候補)箇所の抽出 パブリックコメントの実施方法(案)	
<b>第3回移動性・安全性向上検討委員会</b> 平成19年3月14日 パブリックコメントの結果について イライラ(移動性障害)箇所<52箇所>の選定 ハラハラ(安全性要対策)箇所<50箇所>の選定	
<b>第4回移動性・安全性向上検討委員会</b> 平成20年1月31日 イライラ・ハラハラ箇所の対策内容について 対策実施状況について(全体の進捗報告/対策事例の紹介) 今後の課題について (対策完了箇所に対する評価方法/パブリックコメントの実施)	

### 【パブリックコメントの実施 (2/18~3/7)(19日間)】

- ▶ **パンフレット**と**インターネット**を用いてパブリックコメントを実施

#### パンフレット



#### インターネット



# 1. 概要

<プランPDCA>

## 1 - 2 . 第5回委員会の位置付け

1. 概要

第4回の内容

第5回の位置付け

2. パブコメ

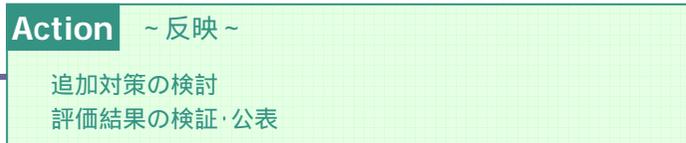
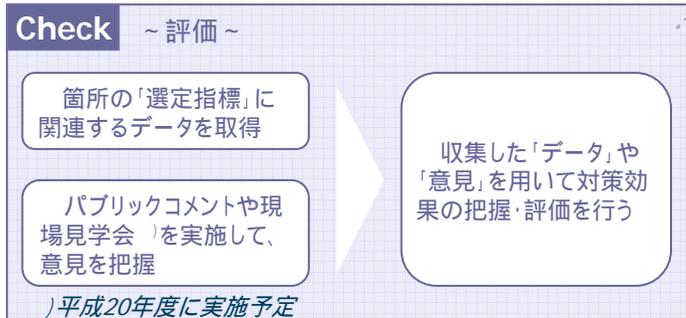
3. 評価方法

4. 今後の方針

- ▶第5回委員会では、PDCAサイクルにおける「Check(評価)」が主な検討内容になる。
- ▶具体的には、「パブリックコメントの結果」、「対策効果の評価」、「今後の方針」について報告・検討を行う。

### 移動性・安全性向上のためのPDCA

現在、「対策の検討」及び「対策の実施」を進めています。



### ~ 第5回委員会の検討項目 ~

パブリックコメントの結果について  
調査データを用いた「Check(評価)」  
~ 評価内容 / データの取得について ~  
今後の方針について

# 2. パブリックコメントについて

< プランPDCA >

## 2 - 1 . 実施概要

### 1. 概要

- ▶パンフレットとインターネットを用いて、H20.2.18～H20.3.7の19日間、パブリックコメントを実施した。
- ▶パンフレットの配布数は10,000部であり、回収数は313件であった。また、インターネットでは13件の回答があった。
- ▶設問の内容、及びパンフレットの回答欄を以下に示す。

### 2. パブコメ

#### パブリックコメントの実施内容と回収状況

#### 実施概要

##### 実施内容

- ▶実施期間 : 平成20年2月18日～平成20年3月7日 (19日間)
- ▶実施媒体 : パンフレット・インターネット  
配布数 : パンフレット 10,000部
- ▶配布先 : 道の駅  
市町村・県の各建設事務所  
国道事務所及び出張所

#### 集計結果

結果のまとめ

### 3. 評価方法

### 4. 今後の方針

##### 回収状況

- ▶回収数 : 326件 (3月12日時点)
- パンフレット : 313件 (回収率 3.1%)
- インターネット : 13件

##### 【設問の内容】

No	設問
1	長野県内の“イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けて、対策を進めていることをご存知でしたか？
2	“イライラ”・“ハラハラ”箇所に対する対策実施状況(図及び一覧表)について、全体の実施状況に対する感想は？
3	対策が完了した箇所にお気づきになりましたか？ 「気づいた」と考えた箇所について、実際に走行した際の満足度は？
4	“イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けた取り組みに対するご意見・ご要望について
5	< 回答者属性 > 居住地 (都道府県・市区町村)      性別      年齢 主な道路利用時の交通手段 (徒歩 / 自転車 / 二輪車 / 自動車 / バス / タクシー)

#### アンケート回答欄

問1 どちらかに○を付けてください。  
“イライラ”・“ハラハラ”箇所に対する取組みを  
( 知っている ・ 知らない )

問2 a～dより一つ選択して○を付けてください。(eは自由記入)  
( a ・ b ・ c ・ d )  
e ( )

問3 (i) (a:気づいた/b:気づかなかった/c:利用していない)を下の表より一つ選択して○を付けてください。  
(ii) 「a:気づいた」を選択した場合のみ、満足度をお答えください。

イライラ	(i) 認知度	(ii) 満足度
No.18	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満

ハラハラ	(i) 認知度	(ii) 満足度
No.4	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.13	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.22	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.30	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.31	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.33	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満
No.34	a・b・c	非常に満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満

問4 “イライラ”・“ハラハラ”箇所に対する取組みへのご意見・ご要望をご記入ください。

問5 あなたのことについて、教えてください。  
◇居住地 :      都道府県      市区町村  
◇性別 : [ 男 ・ 女 ]  
◇年齢 : [      歳 ]  
◇主な道路利用時の交通手段  
[ 徒歩・自転車・二輪車・自動車・バス・タクシー ]

# 2. パブリックコメントについて

<プランPDCA>

## 2-2. 集計結果(回答者属性<問5>)

1. 概要

<問5: 回答者属性の回答状況>

- ▶「居住地」・「性別」・「年齢」に関しては、やや偏りは見られるものの、まんべんなく回答が得られている。
- ▶「主な道路利用時の交通手段」は、自動車が大多数を占め、二輪車・バス・タクシーからの回答がほとんど得られなかった。

2. パブコメ

実施概要

集計結果

結果のまとめ

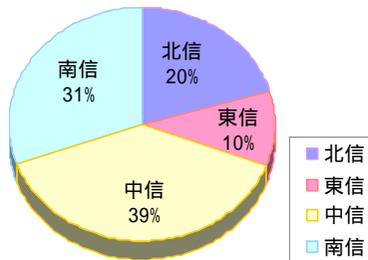
3. 評価方法

4. 今後の方針

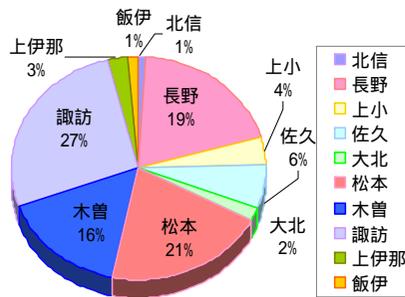
### 居住地

- ◆市町村別では、長野市・松本市・上田市からの回答が多い。
- ◆4地域別では、北信・中信地域からの回答が多い。
- ◆10地域別では、長野・松本・諏訪地域からの回答が多い

<4地域別>

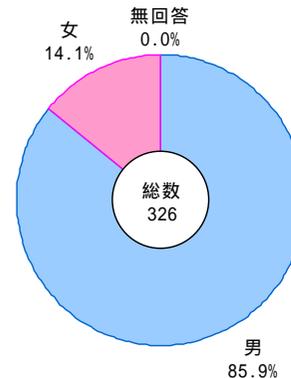


<10地域別>



### 性別

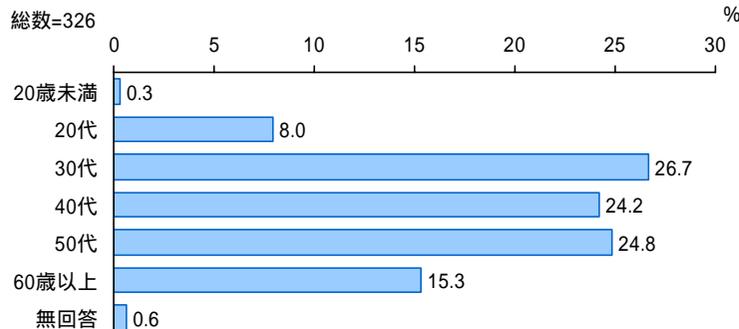
- ◆運転機会の多い男性からの回答が85.9%あり、女性の14.1%を大きく上回っている。



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	326	100.0
男	280	85.9
女	46	14.1
無回答	-	-

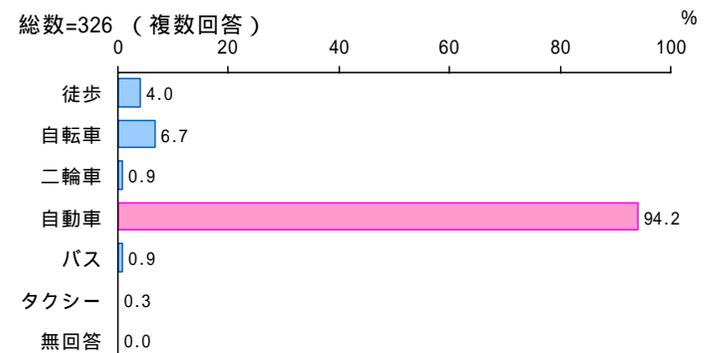
### 年齢

- ◆30代からの回答が26.7%で最も多い。
- ◆運転免許保持者の少ない20歳未満からの回答が極端に少なくなっている。



### 主な道路利用時の交通手段

- ◆自動車との回答が94.2%で他に比べて格段に高い。
- ◆徒歩や自転車との回答も若干得られている。



# 2. パブリックコメントについて

<プランPDCA>

## 2 - 2 . 集計結果(対策の取り組み認知度<問1> / 対策の実施状況に対する感想<問2>)

1. 概要

<問1と問2の回答状況>

- 問1の「取り組み」に対する認知度は、約6割の方から「知っている」との回答が得られた。
- 問2の「全体の進捗状況」に対しては、約7割の方から「もっと対策を推進して欲しい」との回答が得られた。

2. パブコメ

実施概要

集計結果

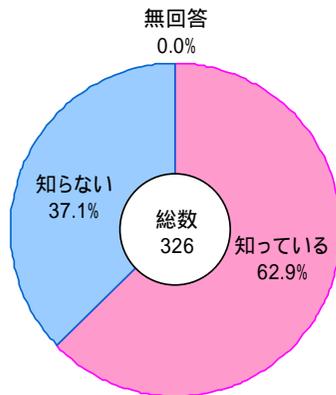
結果のまとめ

3. 評価方法

4. 今後の方針

### 問1 移動性・安全性対策の取り組み認知度

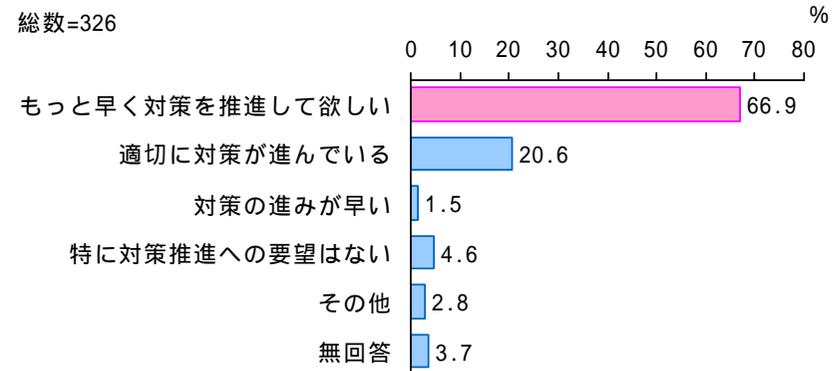
- ◆「知っている」が62.9%であり、「知らない」の37.1%を上回る結果となっている。



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	326	100.0
知っている	205	62.9
知らない	121	37.1
無回答	-	-

### 問2 対策の実施状況に対する感想

- ◆回答のなかでは、「もっと早く対策を推進して欲しい」が66.9%であり、他の回答に比べて格段に多い。
- ◆次いで多いのは、「適切に対策が進んでいる」の20.6%である。



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	326	100.0
もっと早く対策を推進して欲しい	218	66.9
適切に対策が進んでいる	67	20.6
対策の進みが早い	5	1.5
特に対策推進への要望はない	15	4.6
その他	9	2.8
無回答	12	3.7

# 2. パブリックコメントについて

<プランPDCA>

## 2-2. 集計結果(完了箇所の認知度・満足度<問3>)

1. 概要

<問3の回答状況>

- 認知度：利用した人(「気付いた」+「気づかなかった」の合計)に占める「気付いた」の割合は、全ての箇所で高くなっている。
- 満足度：「非常に満足」・「やや満足」の割合は全ての箇所で6割前後を占めている。

2. パブコメ

実施概要

集計結果

結果のまとめ

### 問3 完了箇所の認知度・満足度

◆利用した箇所(「気付いた」と「気づかなかった」の合計)に対しては、「**気付いた**」との回答が約5~7割を占めている。

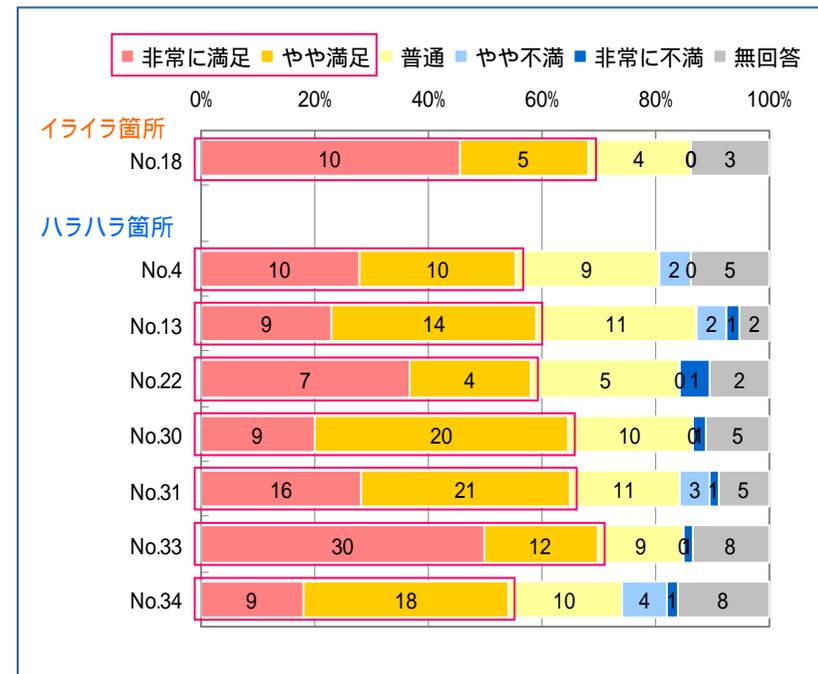
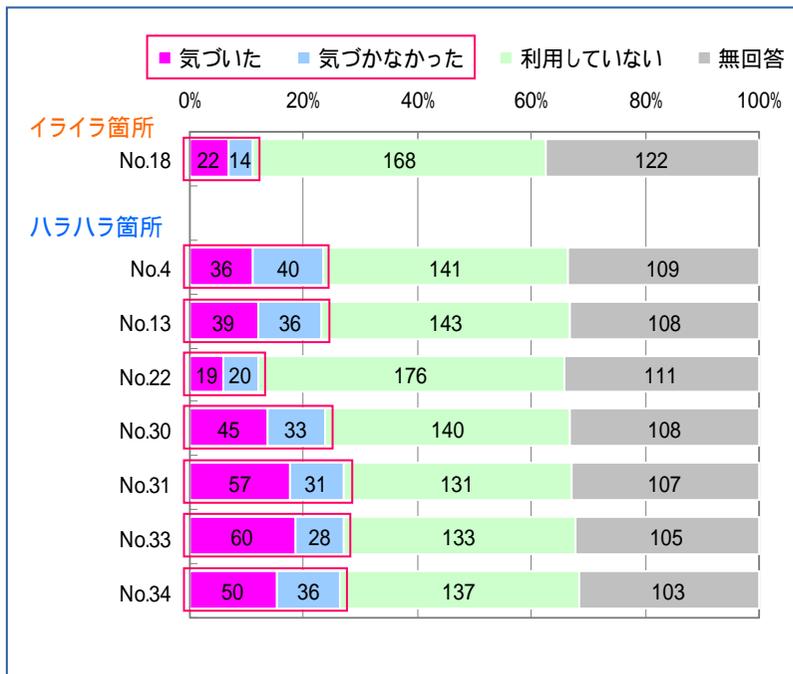
◆「**気付いた**」と回答した箇所に関する満足度は、すべての箇所で「**非常に満足**・**やや満足**」の合計が6割前後を占めている。

3. 評価方法

4. 今後の方針

( ) 認知度 ( ) で、「気付いた」と回答した箇所に対する満足度を調査

( ) 満足度



## 2. パブリックコメントについて

< プランPDCA >

### 2 - 2 . 集計結果(ご意見・ご要望<問4>)

#### 1. 概要

< 問4の回答状況 >

- 取り組みに対するご意見・ご要望としては、「早期に(積極的)に対策を推進して欲しい」との意見が多数を占めた。
- 対策方針や情報公開のあり方に対する具体的なご指摘もいただいた。

#### 2. パブコメ

実施概要

集計結果

結果のまとめ

#### 3. 評価方法

#### 4. 今後の方針

#### 問4 ご意見・ご要望

- ◆ご意見・ご要望を、内容別に分類し整理した。
- ◆回答の多かった内容、及び回答例を以下に示す。

#### 第1位 早期に(積極的に・継続して)対策を推進して欲しい(約4割)

- 非常によい取り組みと思います。出来るだけ早く対策を進めてほしいと思います。
- 道路によって地域の活性化が進むものと考えます。早期の実施を望みます。
- 地元の生活する人の安全を確保できるよう、もっと推進すべきである。

#### 第2位 (事業名)の整備をお願いします(約2割)

- R20バイパスの早期ルート発表、着工をお願いします。
- 日義道の駅周辺出入りが危険なので改良を要望。
- 週1日以上R141を使い山梨へ行きますが、時間がどうしても短縮出来ません。早く中部横断道を開通して下さい。

#### 第3位 対策の実施方針に関する意見(約1割)

- 工法としては応急的対策でしょうか。今後は恒永久的な方法もお願いします。
- 真に必要な度の高い箇所から優先的に行うことが大事だと思います。
- 当然、都市部の整備は必要ですが過疎部へも手を着けて下さい。

#### 第4位 情報公開・意見募集のあり方について(約1割)

- 常に意見を募集し一つ一つチェックをかけ対策をしていって欲しいです。
- もっと対策を推し進めている事が分かる様にして欲しい。
- このアンケートの期間が短すぎる。

#### その他

- 関係ないところのみで分からない。
- 早期改良を要望したいが、ガソリン税の特定財源の見直しも要望したい。

# 2. パブリックコメントについて

< プランPDCA >

## 2 - 3 . 結果のまとめ

1. 概要

➢ 「取り組み」の< 認知度 / 進捗状況 >、「対策完了箇所」の< 認知度 / 満足度 >に関する意見と対応方針を以下に示す。  
➢ パブリックコメントの結果は、「Check(調査データを用いた対策効果の評価)」や「Action(反映)」、及び新たな「Plan(計画)」の検討の際の基礎資料として用いる。

2. パブコメ

実施概要

集計結果

結果のまとめ

3. 評価方法

4. 今後の方針

### パブリックコメントの結果のまとめ

#### ～ 意見 ～

#### ～ 対応方針 ～

対策の取り組みについて

認知度

➢ 約6割の方から「知っている」とのご意見をいただいた。  
➢ ただし、自由意見では、「周知不足」との指摘もいただいた。

➢ 今後とも、県民に対して、取り組みを認知していただけるよう工夫する。

進捗状況

➢ 約7割の方から「もっと対策を推進してほしい」との回答をいただいた。  
➢ 自由意見でも、具体的な対策を挙げ、対策の推進を望む意見が多く見られた。

➢ 対策が確定していない箇所に対しては、今後、早期に対応の検討を行う。  
➢ 現在、対策実施中の箇所に対しては、引き続き早期完了を目指して対策を進めるとともに、対策の進捗状況を継続的に情報発信する。

対策完了箇所について

認知度

➢ 対策が完了した箇所(8箇所)を利用した方からは「気付いた」との回答を多くいただいた。

➢ 対策完了箇所については、今後事業の事後評価を行うとともに、認知度が向上するように絶えず情報発信を行う。

満足度

➢ 対策が完了した箇所に対する満足度は「非常に満足・やや満足」との意見を多くいただいた。

➢ 今後、当該箇所については、阻害状況に関する調査データを取得して効果の検証を行う。  
➢ 個別事業で得られた評価結果を、他の事業箇所に活用できるのかを検討し、活用できるのであれば評価結果を反映していく。

# 3. 調査データを用いた「Check(評価)」

< 個別箇所PDCA >

## 3 - 1. 「Check(評価)」の概要

1. 概要

- 評価の方針を<イライラ箇所 / ハラハラ箇所> 別に検討する。さらに、イライラ箇所については指標別に方針を検討する。
- 評価を行うために、「評価内容」・「取得データ」・「調査・評価の時期」・「判定方針」 について検討する必要がある。

2. パブコメ

### Check(評価)の検討

#### 【検討対象】

箇所の「選定指標」に関連するデータを取得

パブリックコメントや現場見学会 )を実施し、対策効果に関する意見を把握

)平成20年度に実施予定

収集した「データ」や「意見」を用いて対策効果の把握や評価を行う

3. 評価方法

評価の概要

イライラの評価

ハラハラの評価

#### 【検討内容】

詳細については次ページ以降に示す。

#### 検討事項

- 「イライラ箇所対策」と「ハラハラ箇所対策」のそれぞれに対し、
  - 評価内容 (渋滞の削減、…)
  - 取得データ (渋滞損失時間、…)
  - 調査・評価の時期 (単年、…)
  - 効果の判定方針を検討する。
- 「イライラ箇所対策」については、4つの選定指標<渋滞 / 積雪 / 災害・気象 / 線形不良・交通不能> に対してそれぞれ評価方針を検討する。

#### 評価する内容

- 各箇所の“選定指標”に対応した内容の評価方針を定める

#### データの取得

- 評価内容の改善効果を把握できるデータを取得する

#### 調査・評価の時期

- 取得するデータの特徴を考慮して、調査・評価の時期や期間を設定する

#### 効果の有無の判定

- 効果の有無に関する判定基準を設定し、「追加対策が必要」または「経過観察」を判定する必要がある

4. 今後の方針

# 3. 調査データを用いた「Check(評価)」

< 個別箇所PDCA >

## 3-2. “イライラ” 箇所対策の評価

### 1. 概要

- 「評価内容」は、阻害要因の様々な「改善効果」に関する項目を整理している。
- 「取得するデータ」は、評価内容を最も把握できると考えられるデータを取得する。
- 「効果の有無」に関する基準については今後達成度の目標値を定めて検討する。

### 2. パブコメ

### イライラ箇所対策の「評価内容」と「取得データ」

- 「評価内容」と評価するための「取得データ(案)」を以下に示す。
- データの取得や把握は、個別箇所の対策に関連している道路管理者が担当する。

### 3. 評価方法

評価の概要

イライラの評価

ハラハラの評価

効果の判定

### 4. 今後の方針

阻害要因	評価内容(案) (評価指標)	取得するデータ(案)	
		項目	取得の頻度
渋滞	渋滞の削減・緩和	渋滞損失時間	H16～対策完了後一定年数 毎年
		渋滞長	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
積雪	除雪時の走行性の向上	整備後の車道幅員	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
		積雪量に応じた除雪の回数	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
災害・気象	災害・気象による通行止めの削減	通行止め時間	H14～対策完了後一定年数 毎年
	気象による影響の緩和	改良率	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
線形不良・交通不能	線形不良の解消・改善	平面線形・縦断勾配・幅員構成	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
		線形不良率	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
	走行性の向上	交通不能区間	対策実施前後 合計2回 (対策直前と完了直後)
		旅行速度	H20～対策完了後一定年数 合計2回 (対策直前と完了直後)
		所要時間	H20～対策完了後一定年数 毎年

渋滞損失時間：運転者や同乗者が交通渋滞により浪費している時間を表す

# 3 . 調査データを用いた「Check(評価)」

< 個別箇所PDCA >

## 3 - 3 . “ハラハラ” 箇所対策の評価

1. 概要

- 評価内容については、「事故件数の増減」だけでなく、「事故類型」や「事故発生位置」の変化などについても評価する。
- また、死亡・障害費用の低減効果についても評価する。
- 「効果の有無」に関する基準については今後達成度の目標値を定め検討する。

2. パブコメ

### ハラハラ箇所対策の「評価内容」と「取得データ」

- 「評価内容」と評価するための「取得データ(案)」を以下に示す。
- データの取得や把握は、個別箇所の対策に関連している道路管理者が担当する。

3. 評価方法

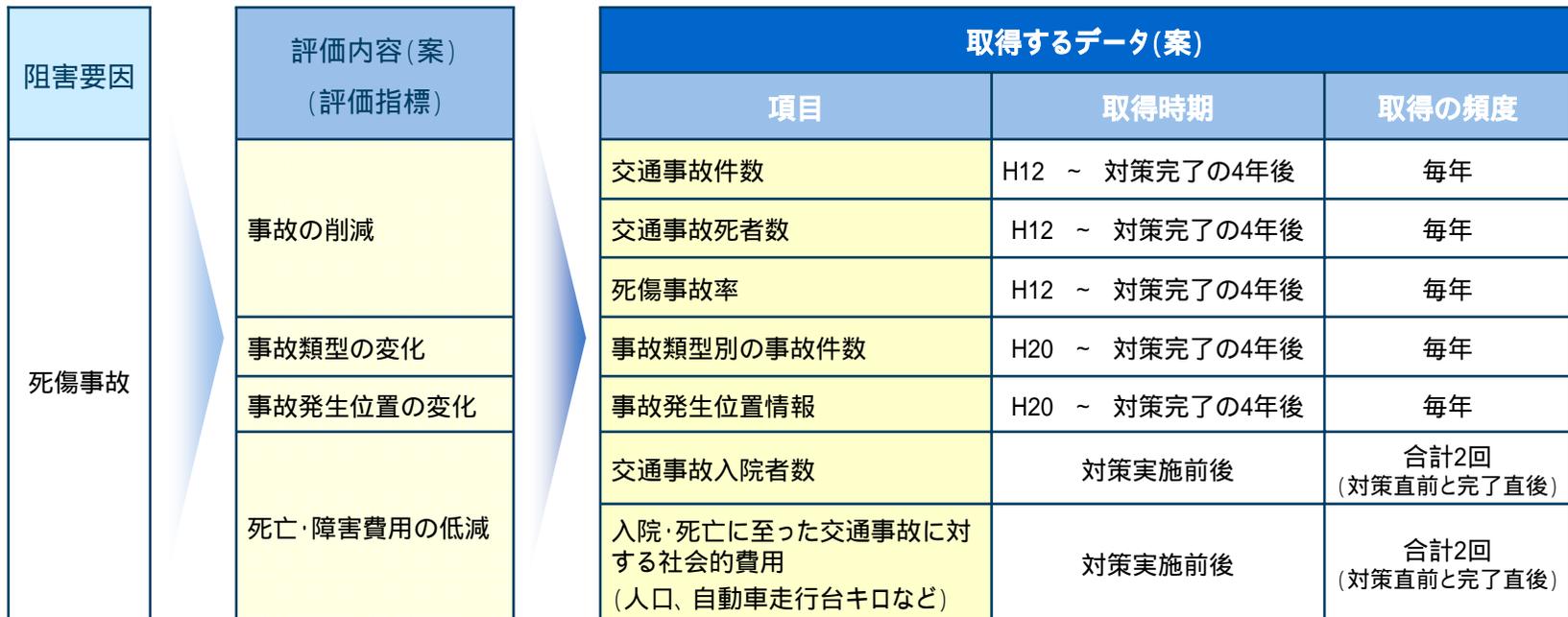
評価の概要

イライラの評価

ハラハラの評価

効果の判定

4. 今後の方針



死傷事故率：自動車走行台キロあたりの死傷事故件数を表す

箇所の選定は「H12～H15(4年間)の事故データ」を用いているため、対策効果の判定についても4年間のデータを用いることが望ましい。

# 3. 調査データを用いた「Check(評価)」

< 個別箇所PDCA >

## 3 - 4. 対策効果の判定方針

1. 概要

- ソフト的な対策は、対策完了後の短期的なデータ、及び一定年数蓄積したデータにより効果の判定を行う。
- ハード的な対策は、対策完了後、一定年数蓄積したデータにより効果の判定を行う。
- ソフト対策は早期の実施・評価を進める。それと並行して、可能な限り迅速にハード対策を実施・評価していく方針である。

2. パブコメ

### 対策効果の「調査・評価時期」と「判定方針」

**ソフト対策**：短期的に実施可能な対策で、即効性の効果が期待できる。  
(例：除雪回数の増加、信号現示の見直し など)

**ハード対策**：長期的な整備が必要となる対策で、恒久的な効果が期待できる。  
(例：バイパス整備、交差点改良 など)

### 【イライラ・ハラハラ対策効果の評価方針(案)】

3. 評価方法

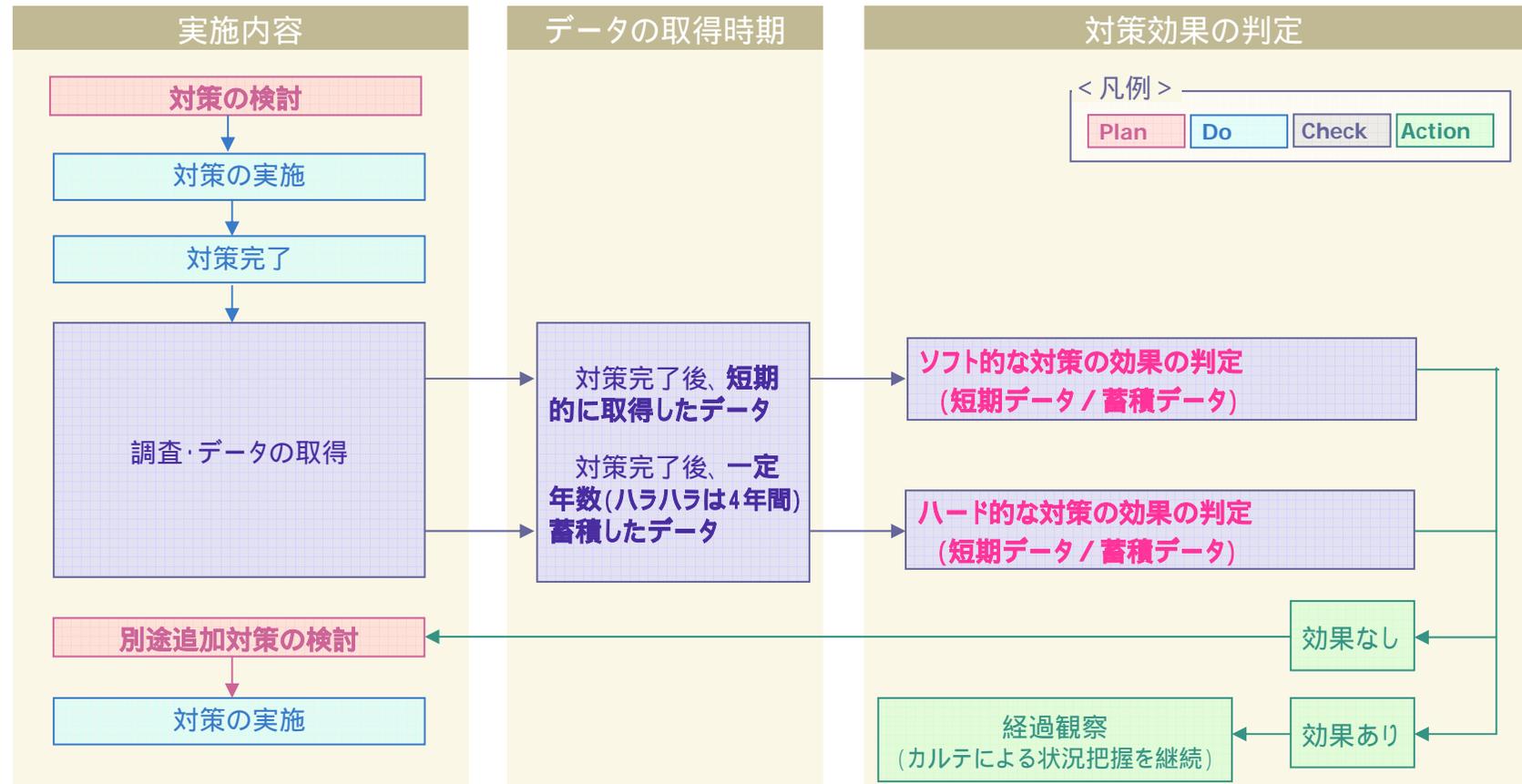
評価の概要

イライラの評価

ハラハラの評価

効果の判定

4. 今後の方針



# 4 . 今後の方針

<プランPDCA>

## 4 - 1 . 今後の「PDCAサイクル」について

1. 概要

- ▶ 今後、対策完了箇所における「追加対策」や「新規箇所の追加」を検討しながらPDCAサイクルを進めていく方針である。
- ▶ 「追加対策」については、対策の効果が得られなかった箇所において随時検討を行う方針である。
- ▶ 「新規箇所の追加」については、箇所を選定するための“新たな指標”を今後検討していく方針である。

2. パブコメ

3. 評価方法

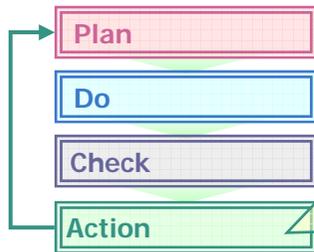
4. 今後の方針

今後のPDCA

委員会の予定

### PDCAサイクルに関する今後の課題

#### 【Action(反映)の概要】



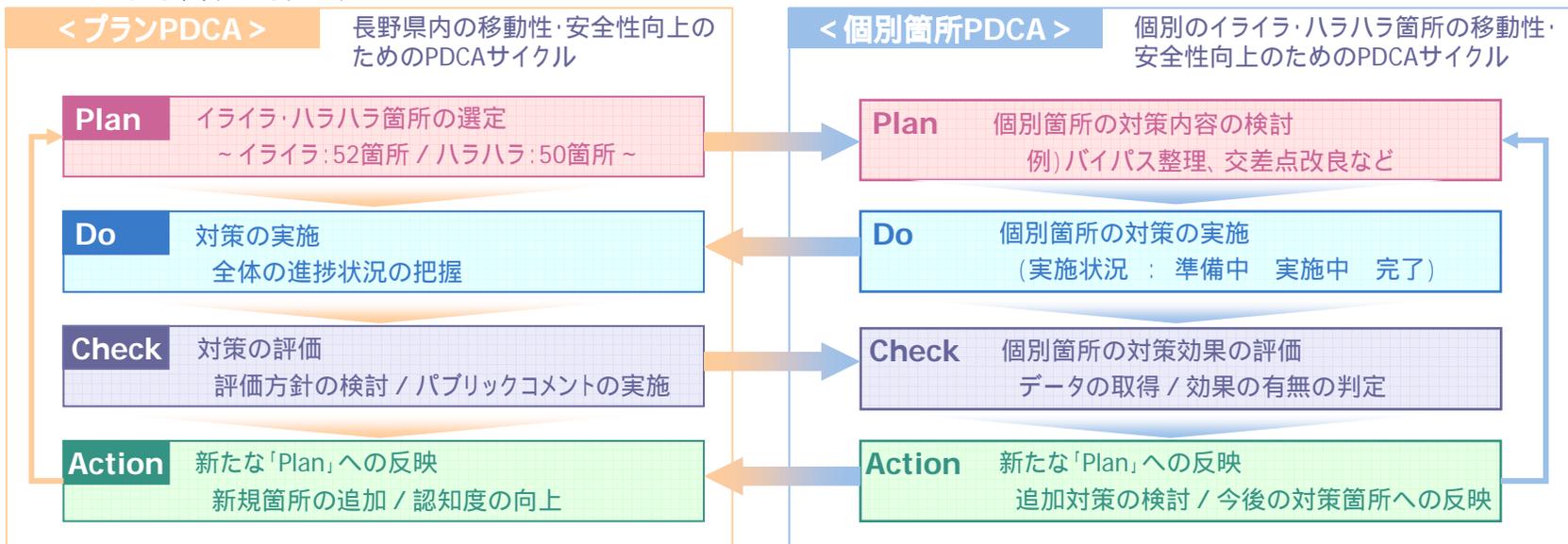
「追加対策の必要性」などを検討する

「個別事業で得られた課題、知見」などを今後対策を実施する他の箇所に反映する  
(管理者間での情報共有を図る)

新たな指標や基準を検討し、「新規箇所の追加」を検討する

認知度が向上するような工夫を行う。

### <PDCAサイクルのイメージ>



# 4 . 今後の方針

< プランPDCA >

## 4 - 2 . 第6回委員会の予定

1. 概要

- 第6回委員会は平成20年9月頃の開催を予定している。
- 第6回委員会では、PDCAサイクルにおける「Check(評価結果)」と「Action(反映)」の内容が主な検討対象となる。
- 第6回委員会後には、「対策の効果(評価結果)」と「追加対策」に関するパブリックコメントの実施を予定している。

2. パブコメ

3. 評価方法

4. 今後の方針

今後のPDCA

委員会の予定

**Plan** ~計画~  
第1～第3回移動性・安全性向上検討委員会  
< H19.3.20 > 「イライラ(移動性障害)箇所見える化プラン」及び「ハラハラ(安全性要対策)箇所見える化プラン策定  
イライラ及びハラハラ箇所の対策事業整理(カルテ作成)

**Do** ~実施~  
< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催  
< H20.2 > 対策事業に関するパブリックコメントの実施  
< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催

**Check** ~評価~  
< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催  
< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催  
< H20.9 > 第6回移動性・安全性向上検討委員会の開催

**Action** ~反映~  
< H20.9 > 第6回移動性・安全性向上検討委員会  
< H20.10 > 対策効果及び追加対策に関するパブリックコメント実施

~ 第6回委員会の検討項目(案) ~

対策の進捗状況について

現場見学会の報告

対策効果の評価結果について

評価結果の「反映」について

パブリックコメントの実施概要

~ 「対策効果」及び「追加対策」について ~